

第161回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和7年2月20日（木）午後4時から
2. 開催場所 ホテル ベラヴィータ 会議室

司会 吉良 武夫

3. 出席の委員 委員総数 9名
出席委員数 (6名) の氏名
小野瀬和男 ・ 生方朋子 ・ 川端 宏行
諸田勝 ・ 山口梨香 ・ 原澤ふじ子

欠席委員数 (3名) の氏名
落合 裕子 ・ 宇敷喜与次 ・ 小野 和明

放送事業者側出席者名 (5名)
本山 佳宏 ・ 真下恭嗣
千明 公男 ・ 吉良武夫 ・ 千明絢香

4. 挨拶

○沼田エフエム放送（株）代表取締役社長 本山 佳宏

新年になりまして、初めての放送番組審議会です。どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。過日、1月24日に弊社の恒例事業となっております、FM O Z E 賀詞交歓会「新春を祝う集い」を240名ほどのお客様をお迎えして、開催させていただきました。審議委員の皆様にもご臨席いただき、ありがとうございました。

さて、過日の大雪であらためて学びましたが、災害は決して他人ごとではなく、いつどこで、私たちの身近でも、起きるかも知れません。あらためてFM O Z E の役割を確認致しました。引き続き「住民の声を生かして創る“利根沼田”」の実現に向けて、確かな情報発信を進めてまいりますので、ご指導、ご協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

○沼田エフエム放送（株）放送番組審議委員長 小野 瀬和男様

今年も2月に入り、日の早さを感じる日々です。今年は昭和で数えると100年という節目の年です。100年を記念した行事をしているところもあるようです。ラジオ業界では、大正14年頃に芝浦の高校にある研修室で試験放送したことを記憶しています。ラジオから聞こえた第一声は「聞こえますか？」でした。この様なラジオの歴史を感じつつ、これからも地域に密着した放送を期待したいと思います。FM O Z E は開局から28周年が経ちますが、新しい番組も含め検討していただけたらと思います。本日も審議をよろしくお願ひいたします。

5. 資料の確認

- ・ 席表
- ・ 審議会資料綴り
- ・ 番組表
- ・ 緊急カード
- ・ チャペル ひな祭りコンサート (チラシ)
- ・ FM OZE 賀詞交歓会 (冊子)

6. 議 事 進行：審議会委員長 小野瀬 様

① 放送報告 視聴CDより

Tr. 1 Happy Evening 2/3 (月) 18時30分～放送

取材担当：千明絢香

テーマ：「沼田小学校 4年生 総合授業（アフリカ座）特別授業」について

内容：沼田小学校4年生の児童は、埼玉県の劇団アフリカ座の演劇を見て、小松姫は真田信之が不在の際に城を守り通したことを知った。更に、その時の場所が、沼田小学校の冠木門だったことに衝撃を受け、この歴史を大切にしていきたい。地域の方々にも自分たちの劇を通して知ってもらいたいと思い、保護者や地域の方々に向けて演劇を行うとし、アフリカ座の劇団員さんの指導のもと、演劇発表会へ向けての授業を実施。（発表日：2/14金曜日 午前10時20分～）

●ご意見

(小野瀬) 先生や生徒劇団の皆さんの準備があつての授業だったと思います

(川端) アフリカ座の公演を実際に見たことがあり、更に子供たちの公演発表会も見ていた。今回は歴史というよりも、子どもが活動内容に関心をもつことが大切である。インタビューを通して、皆で取り組むのが楽しくとても良い活動だと感じた。同じ様に、沼須の人形芝居を沼田市内の小学校で年4回行っている。（北小・沼小）

今後この様な取り組みを取材していただけると良いと思う。

(小野瀬) 生徒が活動に参加することが大切。更に活動を通して新しい発見に繋がる。

ラジオを聞いたことにより、リスナーさんにも新たな発見に繋がる。

(真下) 沼須人形芝居についても同じような活動を実施しており、演劇や裏方なども全て子どもたちで取り組んでいる。こちらも取材を検討してほしい。アフリカ座の取材は、番組審議会からのご意見で取材に繋がり、審議会の大切さを感じた。

(諸田) 学校で演劇を取り上げることの重要性を感じた。音楽・美術の活動がメインになってきているため、演劇に取り組んでいることが素晴らしい。インタビューでは、子どもとのやりとりのテンポが良かったが、杉山さんのインタビューが長かったので、間に

質問を入れると良いと感じた。

●会社側の見解と対応

- ・今後も番組審議委員さんのご意見を伺いながら、地域に密着した情報をお伝えしていきます。

Tr. 2 朝志のEラヂオ 1/16 (木) 12時15分～放送

中継担当：吉良武夫

スタジオ：立川朝志・千明絢香

テーマ：「沼田だるま市について」（中継）

内容：「地域の話題やイベント情報」のコーナーにて、沼田だるま市の様子を現地から電話中継にてお伝えしました。

●ご意見

(小野瀬) 現地の様子が中継内容から感じられた。だるま市には行ったことがないが、内容に店舗数などもあり、想像することができた。雑音もあったが、臨場感が出て中継という感じがした。スピードも話し方も良かった。受験生は何色が合格祈願であるなど、だるまの色の紹介が良かった。

お炊き上げの時間についても案内があって良かったが、時間に間に合わなかった人やいけない人は、どの様に供養したら良いのか更に案内を入れてはどうか。

(山口) お祭りに行ったことがないが、ザワザワした感が楽しく聴けた。

7色のだるまの意味が聞けて大変興味深かった。

(真下) 達磨大使とはどんなことなのか。2時からのセレモニーはどんなものなのか。

中継とは別に少し深堀してみてもどうか。

●会社側の見解と対応

- ・中継というリアルタイムの情報を伝えることの大切さを再認識しました。
注意事項や、更に深堀した内容の放送も今後に向けて検討させていただきます。

Tr. 3～4. FM OZE 自局CM (防災編)

<雪道の注意喚起・詐欺注意喚起>

●ご意見

(小野瀬) 雪道での注意点がよく入っていると思う。

(原澤) 警察からの情報も参考にされながら、普段の生活で活かされる内容だと感じた。

ドラマのようなストーリーがあって、聞きやすかった。

(生方) メールで届く特殊詐欺についても、注意喚起をしたらどうか。固定電話にくる電話は録音機能やアナウンスなど対応をしている家庭が増えている。メールやLINEへの対応も検討すると良い。(その時に応じた流行の詐欺に対する注意喚起を入れる。)

●会社側の見解と対応

- ・社会情勢などを鑑み、時期に合った防災放送を実施していきます。

その他

(川端) 沼田聞書帖を読んだ。桑原健次郎先生でしたが、他の方のものはありますか？

また、録音はありますか？

録音したものを借りられるシステムや、書籍に残すことも検討していただきたい。

●会社側の見解と対応

金子康江先生の「ことともの思い出」や高山正先生の「利根沼田の人物伝」がござい
ます。音声については、確認します。

7. 報告事項

- ・番組表について。1月から3月放送分の番組表をお配りしました。三つ折りタイプは初の試みです。4月からの番組編成については、現在検討中です。
- ・緊急カード（コミュニティFM記載）を配布しました。ご利用ください。
- ・チャペル ひな祭りコンサート開催について
- ・FM OZE 賀詞交歓会について、P2～4にてハートウォーミング大賞と輝き Awardの受賞者を紹介しています。ご覧ください。

次回開催日について（基本 偶数月 第3木曜日）

日 時 令和7年4月17日（木） 16：00（予定）

会 場 ホテル ベラヴィータ会議室（予定）

9. 閉 会